

読書バリアフリー研究会 アンケート回答（2016_6_26 岐阜会場）

～みんなに読む喜びと楽しさを伝えよう～

参加者 **70**、アンケート回収 **64**

1. この講座をどちらでお知りになりましたか。

新聞・雑誌	0	
ちらし・DM	19	
友人・知人の紹介	13	
ウェブサイト・ブログ	7	当財団 HP 4、県立図書館 HP 2
メーリングリスト	3	図書館 1、ディスレクシア協会名古屋 1
その他	22	図書館 11、職場 6、名古屋情報文化センター 1、教育委員会 1、UD パブ 1、
合計	64	

2. 今回の講座の満足度をお聞かせ下さい。

満足	やや満足	やや不満	不満
51	12	1	0

その理由をお聞かせ下さい。

満足の理由
<ul style="list-style-type: none"> ・参考になるツールや HP をたくさん教えていただけてよかったです。ディスレクシアについて、ほとんど知識がなかったのですが、当事者の先生から直接お話を伺って理解が深まりました。ありがとうございました。 ・岐阜市立特別支援学校の神山先生のお話、とても参考になりました。今、学校で働いていますが、子どもたちの苦しんでいる心の声を丁寧に代弁していただいたように思います。我々はさらに学び、どんな子どもたちにも学びの保障をして、幸せに生きていってもらえる環境を作っていきたいと思えたからです。来てよかったです。ありがとうございました。涙が出てきました。悲しい思いを子どもたちにはさせたくないです。学校でも特支教育コーディネーターとして生かせる内容ばかりでした。感謝しています。 ・実際にマルチメディア DAISY 図書を見せていただいて改めて良さを実感しました。神山先生のご講演は以前にも聴かせていただいたことがありましたが、当事者の困り感という点でお話を聴かせていただける機会というのはとても貴重で今回も勉強になりました。ありがとうございました。 ・マルチメディア DAISY について、その成立や普及の様子、また、活用方法など詳しく知ることができました。神山先生のお話はとても貴重でした。読書についていろいろな工夫が幅広く行われていることを知ることができました。 ・神山先生のご講義が大変印象深く心に残りました。教員 3 年目でまだまだいろいろなことを学び続ける必要がありますが、その最も大事な「子どもたちを見る視点」としての根幹にあたることを教えていただいたと思います。ぜひ先生の子どもたちとの日々の関わりや授業も勉強させていただきたいと思いました。 ・ディスレクシア当事者の人の話が聞け、実態がある程度わかった。マルチメディア DAISY の有効性がわかった。 ・具体的な提示が多く理解しやすかった。神山先生の肉声よりも TTS の方が抑揚がなくてよいというのはショックでしたが、確かに自閉的傾向の子はパターン化されて機械的な方が

安心できて聞けることを考えると、そうかもと思いました。やはり、当事者にきかないと分からないことが多いと気づかされました。

- ・講師の先生方のお話が分かりやすかったです。障害のある方への書籍への取り組み、神山先生への視点では、障害に関わっていくものとしての心構えを意識できました。やさしく読める本では、今後若い学生さんの力を借りて、おもしろいアイデアいっぱい楽しい本ができるの良いなと思いました。今日はありがとうございました。
- ・神山先生から読字障害について詳しくお話が聞けて良かった。関連書を読んでも今ひとつよく分からなかったのですが、「外国語の本を読まされたみたいな感じかな?」「疲れてて字を追っても頭に入らないという感じかな?」と想像しながら聞いた。
- ・神山先生のお話は、困っている生徒の内面を解説していただいたように分かりやすく理解できました。本人は自分の困り感を説明できないし、特別な支援を避けてしまうこともありますが、どうしてそうなのかを納得できたように思えました。今後のやり方のヒントも得られました。
- ・見えない、読めない障害について、今までよく知らずにいたことがよく分かりました。特に神山先生の話は、当事者の経験として具体的で貴重なお話が聞けたと思います。ありがとうございました。
- ・今、全盲の児童を受け持っていて、参考になるお話を聞くことができ、点字の書籍もたくさん見ることができよかったです。当事者さんからのお話ということで、心にビンビン先生の言葉が響いてきました。つらいお話だったかもしれませんが、そんなつらい体験でなく、学ぶ喜びを感じられる子どもたちが増えるように支援して行くためのお話で、子どもたちに寄りそって支援していきたいと感じました。
- ・とても参考になりました。障がい者サービスの担当になり、一通り関連することを覚えたつもりでしたが、今日のお話で中身が詰まった気がします。図書館に戻ったら、さっそく体制を整えたいと思います。
- ・DAISY 教科書の事や、いろいろな事を知っておくと子どもを助けてあげられると思いました。最近発達障害の子も多いけれど、神山先生のわかりやすい講座で学ぶことができました。教師(大人)の役割って、メロン、トマト、キュウリ、どんな種を持っているのか察知することが大事、ということが分かりました。
- ・ディスレクシアの例だけじゃなく、対策を教えてもらえた。
- ・DAISY 図書のことを(利点、活用方法、種類等)理解できた講座内容で大変参考になりました。現在携わっている教育現場においてどんどん取り入れ、活用拡大に向けて努めたいです。また、神山先生の読み書きに関する障がいのことを、当事者の立場からのお話は、胸に突き刺さるものがあり、インパクトがありました。受講して本当に良かったです。ありがとうございました。
- ・それぞれの方のお話が、つながっているとこもあれば、独立していることもあり、とても興味深く聞かせていただきました。いろいろな立場の方のお話を伺えるのはありがたい機会だなと思いました。ありがとうございました。
- ・本を読むのが苦手な子たちは、こうした困難を持っていることが分かりました。読書だけではなく普通の授業の中でも生かせることができるように思いました。障害=タイプと考えると、誰もが普通ではないので、世の中が「どんな人でも生きやすい」ところになっていけば良いのだと思います。ありがとうございました。
- ・ディスレクシア当事者の目線は自分の想像ができていなかったところで、生徒と接する時、言葉・態度に気をつけたいと思います。
- ・今年度から図書館で障がい者サービスを担当することとなりました。恥ずかしながらマルチメディア DAISY など知らないことばかりだったので、参加させていただき、とても勉強になりました。さまざまな方法で支援できることがわかりました。また、読み書き障がいの当事者でも

ある神山様のお話は、全ての人に当てはまることだと心に残りました。

- ・伊藤忠記念財団のお考えがとてもよくわかりました。DAISY 図書について地元の小学校に働きかけてみます。
- ・ディスレクシアと診断された児童が自分の学級にいます。神山先生の小学校時代、中学校の時代の体験と想いを伝えていただき、その子の思いや感覚を少し理解できた部分がありました。その子の気持ちによりそって、環境を整えていかなければと、また思わせていただきました。ありがとうございました。DAISY 図書の使用を考えさせていただこうと思います。
- ・マルチメディア DAISY についていろいろな可能性があることがわかった。教育現場で工夫しながら活用していく必要があると感じた。
- ・当事者の話を聞く機会をいただいた。
- ・昨年愛知図書館でお聞きしました。あの時より詳しく、資料も広がっていて、良く理解できた気がしました。文庫の助成もいただいております。周りにまだ援助が必要な子どもはいませんが理解できるようになる(なりたい)と思いますので嬉しく思っています。
- ・当事者の話が聞いて、困り事が良く分かりました。
- ・いろいろな読みに対するアプローチがあることが分かりました。合理的配慮をしなければならぬ時代なのでとても勉強になりました。当事者の方の声、思い、おいたちを聞くことができて良かったです。また、技術的なこと、制度的なことも知ることができて為になりました。
- ・ディスレクシアの理解ができた。対応方法も LL ブックを使ってみたい。Daisy Book も。
- ・「知らないことは相手を傷つける」の言葉が残りました。企画者の思いがよく伝わりました。神山さんの話はとても重く、我が子と重なる部分がありました。1 滴がたまり、あふれ出る時が来ることを信じ、努力していきたい。
- ・様々な会で DAISY のことを教えていただくものの、現場で見ることができずにいます。知識(現状、今後、今ある資料)をたくさん教えていただき、ありがとうございました。研修はいつも 9000 円くらいかかってしまうのですが、今回無料ということで驚きました。今後も参加できたらと思います。ありがとうございました。
- ・5 年くらい前に大阪医科大であった同様の研修会に参加、以後電子機器の発達、普及が進んだため、参加。支援方法がより多様になったことがわかりました。
- ・いずれのお話もご自身の体験や現場での内容で、とても有意義な講座でした。障害あるなしに関わらず、個々の個性、違いを認め合うことは大切なことだと思います。改めて今日の各先生のお話で気づかされました。また、マルチメディア DAISY 図書のすぐれた機能にはびっくりしました(知ってはいたけれど、見るのは初めてなので)。最後にお話されたように、利用がより広がっていけばと思います。
- ・毎日生徒と顔を合わせていると、一人一人に応じて何とか関わっていきたくて思っているのに、いつのまにか対応が難しく、辛い思いをさせてしまっている。一人ひとりが困っていることを理解したと思っても、次はその対応をどうすればいいのか考えが浮かばず悩むことがよくある。今日はお話を聞きながらクラスの子の顔が出てきて、かわいそうなことをしていた、もっと楽しくさせてやりたいと思った。その中の一つに読書がある。今まで聞いたことのある DAISY 図書。実際に使ってみて、これなら私のクラスでも使える、使ってみたい、それで助かる子もきっと出てくるのでしょう。違いを認め合える社会、自分のやりたいことだけれどやりきれない、やろうとするととても苦しくなってしまう今日この頃です。
- ・とても分かりやすくお話いただきました。神山先生のお話が特に心に残っています。小学校の図書館で働いています。先生方にもお伝えしたい話がいっぱいでした。電子図書の必要性、目からウロコでした。
- ・積極的な取り組みの様子を聞いて良かった。
- ・学習・知的障害の実例があり、分かりやすかった。

- ・児童書の音訳をしたことがなかったのですが、需要がないのかと思っていましたが、お話を聞いてぜひやってみたいと思いました。
- ・学校司書をしています。要支援児童はどんどん増えており、周りもふりまわされていますが、何よりその子自身が困っているのだろう、辛い思いをしているのだろうと感じています。私の立場で彼らにどんな援助ができるか、どんな本を購入したらよいかの指針が欲しくて参加させていただきました。より根本的な問題と現状を学ばせていただきました。
- ・DAISY の良さがよく分かりました。じわじわと広がっていくのでは…と思いました。道づれ作戦良いと思います。利用をしてみたいです。伝えていきますね。
- ・各先生方、主催の方、熱意を持って講演されていた。神山先生のように「わからない」と言えない人たちがいることをいつも心に止めて生きていたい。
- ・いろいろな立場の方から、子どもが楽しく本を読むためにはどうしたらよいかということ、具体的にわかりやすく伺うことができ良かったです。DAISY のこと、読書工房のこと、LLブックのこと、いろいろな情報をまず整理してから職場（知的障害の支援学校）へ伝えたいと思います。
- ・マルチメディア DAISY は聞いたことしかなかったのですが、どのようなものが実際に手にふれて知ることができたり、しかけ絵本などを見ることができて、大変勉強になりました。また、ディスレクシアの当事者の方の話を知ることができて貴重な機会になりました。勤務先の学校現場でも生かしていきたいと思います。
- ・ディスレクシアの当事者の方の話を知ることができた。どういう障害なのかよくわかった。
- ・読書環境の適性を求めて努力されているお話が聞いてとても良かった。iPad の利用、活用法が詳しく理解できました。私にはパソコンがあるから必要ないと思っていましたが、これからのほうが活用できることが分かりました。高齢者の為にも DAISY 化は必要なのだと思いました。ディスレクシアの方の状況がよく理解できました。参加できて本当に良かったと思います。一人でも多くの方が個性として認め会える日が来る日を願っています。ますますマルチメディア DAISY の作品を作りたいと思います。
- ・マルチメディア DAISY を初めて知ることができた。また今後、タブレットなどが学校現場に導入されていくにつれ、子どもの読書を広げることにつながると思う。岐阜県は外国人児童・生徒も多いので活用できると思う。神山先生の講和は現場の教師にとって、考えなければいけない内容を多く含んでおり大変参考になった。成松先生の取り組みもよく分かりました。ありがとうございました。
- ・障害者について知識が足りなかったので大変為になりました。特に神山先生のお話では、今まで理解できなかった LD のことが、理解できました。障害に対する理解が進めば、社会も変わってくると思います。こうした講座をぜひ多くやってください。私は読み聞かせ活動していますが、その時に今日の内容を生かしたいと思います。ありがとうございました。
- ・今まで知らなかったことを教えてもらうことができました。障害者に対してこれだけ多くの読書支援をされていることを知ることができました。神山先生の当事者としての経験はとても心に入りました。
- ・知らないことを知る楽しさ。ディスレクシアの見え方を教えていただけたこと。いろいろな本があることや、そのための努力を聞かせていただけたこと。
- ・学校司書をしていると、グレーの子の多さに驚かされます。先生方の仕事量の多さにも、仕事を始めて気づかされました。それでも小学校時代に少しでも幸せな時間を過ごしてほしいと思い、図書館でおばあちゃんのような気持ちで(43 才ですが!)温かく見守っていこうと思っています。神山先生のように辛い思いをする子が減る社会を作っていきたいと思います。マルチメディア DAISY によって助かる子どもたちが、もっともっと増えるよう願います。
- ・未記入 2

やや満足の理由

- ・成松先生、とても勉強になりました。神山先生、障がいを持った子どもたちの支援のヒントになりました。ありがとうございます。藤澤先生、シンボルについてのメリットとデメリットについても教えていただけると良かったと思いました。
- ・読書という観点でのバリアフリーを教えたことは、今回初めて意識しました。今後ディスレクシアの支援に大いに役立つ今回の講演会でした。
- ・神山忠先生の主張が当事者の方ですから良く理解できました。ととても努力されている方だと思います。
- ・“道づれ”になれるかいまひとつ自信がありません。少しでも利用してもらえたらと思ってはいるのですが。
- ・DAISY がどのようなものかわからなかったのでお話が聞けて良かったです。その他の講座もためになりました。
- ・障害児への「読み聞かせ」と思って参加しましたが、いろいろな視点で障害児(者)への「読書」を考える意味で良かったです。
- ・広く知識を得るという意味では非常に有効だった。その反面自分が必要で知りたい知識と、今はそうでもない知識に分かれた。
- ・もっと長い時間でも大丈夫でした。もっといろんな話を聞きたかったです。
- ・マルチメディアを使った支援の仕方が中心だったため(教員が対象なのか?)。しかし。障害がどんなもので、どんな風に支援することが本人にとって良いのかが理解できました。メディア、絵カード、音声、文字を大きくなど方法はあるのですが、バリアフリーにするためには、心もバリアフリーにして1歩近づくための「気持ち」になることが大切と思う。
- ・マルチメディア DAISY の存在でいろいろな障害の人に役に立っていることが分かったが、まだ普及には、時間がかかるように思う。岐阜の特別支援学校の神山先生のお話は、当事者の主張として、胸を打った。
- ・放課後デイサービスにお手伝いに行っていますが、それぞれの対処の考えを今一度考えてみなければと思います。
- ・本を読むことが難しいという子どもたちのことがよく分かりました。マルチメディア DAISY についても、よくわかりました。私は県の図書館で、音訳のお手伝いをしているので、何か出来る事があればいいなと思って参加しました。少し違いましたが、ディスレクシア等いろんな事が分かって良かったです。小中学校の先生が知るべきだと思いました。

やや不満の理由

- ・理解の仕方は人それぞれであることが分かり、それに対応しようと作られているのが「マルチメディア DAISY」だとわかった。普及するといいですね。レジメが一部分かりにくいものがあった(後で見返せる復習可能なものだとありがたい)。「やや満足」と「やや不満」はどちらが満足度が高いのでしょうか。私は「やや不満」の方が満足度が高いと判断したのですが。私の捉え方が間違っているのでしょうか。それとも別の意図があってわざとこのように示しているのでしょうか。

3. その他、お気づきの点がございましたら何でもお聞かせ下さい。

- ・一昨年に DAISY 図書を知ることができ、活用を校内で広めようとしているところです。毎年のご寄贈ありがとうございます。今回の研修を受け、もっともっと活用していきたいと感じました。
- ・一日を通し3名の先生方の講義を聞かせていただきました。各々に“本”や“読むこと”を違った視点から学ばせていただき、有意義な一日となりました。私は日ごろ特別支援学校の

教員をしておりますので、今日学ばせていただいたことを、明日からの子どもとの関わり、授業に反映させたいと思うことができました。素敵な研究会でした。ありがとうございました。

- ・障害という言葉は私も漢字でかまわないと思います。平仮名にしたからといって中身はなかなか変わらない。“まずは形から”ではなく、“まずは中身から”ですね。本当のバリアフリーを！ですね。私の県の特別支援学校では「障害児」です。なぜ外の世界の人がそういう言葉にこだわるのか逆に気になります。水族館（展示の魚類、ショー等）や遊園地（メリーゴラウンド、汽車、観覧車などに乗る、見る）によく行くのでそういうDAISYが欲しいです。
- ・読書に関する現状がよく分かりました。教育の現場はOA部分で進化しているように思いますが、それを使いこなせる人材がいるのか心配になりました。私自身もパソコン、スマホ苦手です。技術的な支援員養成のような人材育成も今後必要なのかなと思った次第です。
- ・やさしく読める本で、ぜひ作っていただきたいのが、性に関する本です。知的障害のお子さんで、高等部卒業後の性被害が多くて悲しいです。性のことは正しい知識を伝えていきたいと思っています。
- ・質問の時間がもっとあれば良かった。
- ・ありがとうございました。
- ・講座を聞いて涙が止まりませんでした。すごく勉強になりました。またこういう機会を与えてください。ありがとうございました。
- ・「パパンがパン」学校で読みました。原作者にお会いでき、うれしかったです。
- ・「パパンがパン」を生徒たちに見せると、「おいしそう」と楽しんでいました。
- ・発達障害の子どもに興味の広げ方、次の本につなげる読書指導について、次にこのような研究会があればお話を聞きたいです。
- ・冊子などもご用意いただき嬉しく思います。遠くからありがとうございました。
- ・プレゼンテーション、放送機器、照明等、快適であった。机、いすもしっかりした物が使っていて、講習を受けやすかった。
- ・ふきのとう文庫の布絵本、何種か作りました。文庫が続いて嬉しいです。神山さんのお話は具体性があった良かったです。
- ・また参加したいです。また多くの方にもっと参加してもらえるように、会のPRをされるといいと思いました。
- ・このような活動がひとりでも多くの人に伝えられることを願います。具体的に自分に何ができるかと考えてもどうしたらいいのか事例があると良いと思いました。矢部さんのお話に同感、もっともっと広めていきたい。
- ・ぜひ、学校や教育委員会へ研修のお知らせを送っていただけたら…と思いました。現場でDAISYと伝えても「え!?!」「どうしたいの?」「必要なの?」と相手にしてもらえずにいます(あきらめることはしませんが!)。もっともっとDAISYを知ってもらえるように私自身も努力したいです。
- ・学校の特支C。などは、発達障害のことはよく勉強している。ただしLD、ディスレクシアの研修の機会はまだ少ない。学校図書館のことまで気は回らない。学校図書館関係者は忙しく、基本的な運営だけで手いっぱい。合理的配慮のことまで気が回っていない。双方もっているノウハウの統合、合同の研修が必要と思う。本日のような研修会を教育委員会主催の研修会にも来ていただけないでしょうか。担当者だけが研修していても進めにくいのが現状。きっと学校は予算がないと思いますが、まずは実物を見て知ってもらわないと、予算要望につながりません。研修会は大事だと思います。
- ・ぜひ、学校関係者にも聞いていただけたらと思います。教育委員会が動いてくれるといいですね。学校での購入、利用をするのには、上の先生の理解が必要です。岐阜市では今

年度中に、小・中すべてにタブレット端末が入ります！チャンスです。校長会、教頭会で説明できると良いですね。仕事を休まずに参加できたのもありがたかったです。日曜日の研修もよいなと思います。

- ・どのようにマルチメディア DAISY を作るのか、内容も知りたい。
- ・県立図書館でも音訳のサービスをやっているのに、パンフレットにもそのことについて記載されておらず、もっと活動を知っていただき、活発化してほしいと思いました。
- ・DAISY に関しては、やはり、県教育委員会、市教育委員会、校長会等で大いに宣伝して下さるのが一番では、と思います。実際に目の前でデモンストレーションされると伝わります(特支だけではなく、普通校で)。
- ・定員枠を拡げてくださり参加することができ、ありがとうございました。図書館という良い環境で実施していただき、落ち着いて研修することができました。また関西圏でもぜひ開催して下さることを切望します。
- ・親戚に知的障害者がいますが、もっと早くこのことを知りたかったです(もう成人しているの)。また電子図書の大切さも知ることができてよかったです。
- ・可児市にも来てほしい。
- ・へんしんシリーズはページのめくり時が上手だとおもしろいという特性があると思います。少し見せていただいた「へんしん…」の DAISY は、ほんの少しですがめくりが早いな…と思いました。「タケタケタケ…」が「ケタ」と聞こえた！という時にめくるとよろしいかと…。読み聞かせの時に感情を込めて読むか読まないかは賛否両論あると思いますが、今回聞かせてもらったものは、感情込めでありましたが、それがねらいなののでしょうか？大げさな感情を込めず、感じ方は個々に任せる事も大切にしながら読み聞かせしたりしています。
- ・今後も読書バリアフリー研究会のご活動を楽しみにしております。私も職場に戻ったら、わいわい文庫について伝え、入手申込みをさせていただきたいと思います。本日はありがとうございました。
- ・財団の方の努力がひしひしと伝わってきました。障害者の方たちの為にこれからも続けていって下さい。全国すみずみまで回って下さいね。
- ・継続的な研究会になっていくとうれしいです。学校だけでなく、放課後等デイサービスなどの福祉サービス事業所における「読書」のあり方を考えています。実際に自閉症の子どもさんの中で、お話がはじまると笑顔になり、読み手との距離をもちながら、聞いている様子を見ると、もっといろいろなお話を伝えていきたいと思っています。そんな事業所で働く支援者の学習の機会があったらいいなと思います。
- ・社会に出た時、周りの人に理解してもらうことがむずかしい…。
- ・私は障害に応じた支援方法を考えながら「読み聞かせ」を通して交流していけたらと思います。久しぶりに勉強できました。ありがとうございました。公共図書館にわいわい文庫配布…障害者の親は知っていますか？
- ・道づれ作戦に合意します！
- ・教員の経験者だが、当時の苦い思い出がよみがえってきました。こんな機器があればどんなに支援ができたかと悔やまれる。「わいわい文庫」の取り組み、画期的でレジメのまとめ方も説得力があった。
- ・音声の読み聞かせでは、抑揚をつけると分かりにくいといわれていますが、今回見せていただいたのは、抑揚がありましたので、子どもたちにはどのようなものかと思いました。
- ・未記入 32